

令和2年度 学校評価表

菊池女子高等学校

学校教育目標	各科の目標	今年度の重点目標
1 質素、忍耐、規律、思いやりを基軸とし、知性、学識、健康、道義、友情の形成を高揚する。 2 課程の如何を問わず、常時一人もれなく学習生活の目標をもった生徒の教育を遂行する。 3 その他常に顧みて創立の精神に徹した教育を実践する。	普通科 一般コース 1, 一般的県立普通高校と同一の普通教科の履修。 2, 体育、文化面等に思い切り個性を伸ばし、幅広く楽しい高校生活の創造。 3, 事務系、実技系、あらゆる企業への完全就職。 4, 短大の推薦入学や、准看、美容、調理師等の国家資格取得校への進学。 5, 礼儀正しく、節度ある良識人の育成。	○地域間交流 ○世代間交流 ○国際受信・発信 ○eトレでのレベルにあった学習支援 ○私学ならではの個性を引き出す教育 ○自分の居場所をつくれる環境の整備 ○地域活動・地域貢献できる人材を育成 ○A I にできない人間力の育成 ※目標に対し、意識的に取り組んだものに○をつけてください。
	普通科 進学コース 1, 4年生大学、入試の厳しい高看、短大等への進学生であることの自覚と決意の継続。 2, 目標大学及びその受験科目を早期に自主決定すること。 3, 希望校への受験勉強に青春の情熱の一切を賭ける。(家庭学習5時間の確保) 4, 不断的努力と忍耐の成果として、確実に目標大学に合格する。 5, 日々の思索や学習態度を通じ将来、幅広い高度な人生を創造できる人材となる。	
	家庭科 被服コース 1, 被服全般に関する広い知識を身につける。 2, 被服製作の技術を確実に身につける。 3, 被服関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。 4, 女性としての良識を備え、豊かな家庭生活を支える人材となる。	
	社会福祉科 1, 先ず、福祉の心、人間としての真の優しさを養う。 2, 福祉看護の基礎知識、基礎技術を身につける。 3, 介護福祉士の国家資格をとる。 4, 福祉・医療系の上級学校への進学。福祉関係職場に就職する。 5, 将来、福祉社会を支える人材となる。	
	%	
		43
		43
		29
		29
		86
		71
		71
		29

A・・・よくできた B・・・できた C・・・あまりできなかった D・・・できなかった

評価項目	具体的目標	具体的な取組計画・内容	評価	成果	課題
学習指導	学習習慣の確立	授業に積極的に取り組む姿勢を身につけさせることができた	B	・学習意欲を向上させることができた	・計画的に進めていく ・自主学力向上を目指す
		eトレなどを利用し自主的な家庭学習に通じる効果的な課題が提示できた	C	・レベルに合った学習支援ができた ・課題生にはよく活用した	・eトレ利用者の減少 ・7限目など指導時間を設ける ・自主学習ができるシステム導入の検討
	学力の向上	生徒の学力を把握しそれに応じて丁寧に指導することができた	B	・プリントを作成し板書することを減らした	・基礎学力アップを目指す
	授業の工夫	生徒に興味関心を持たせ学習意欲を高めることができた	B		・ICT機器の活用を進める
		わかりやすい授業を行い、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に取り組むことができた	B		・ネット環境等の整備 ・映像等を利用する
	教員の資質向上	教材研究が意欲的かつ積極的にできた	B		・コロナ禍で時間確保が難しかった
研修や意見交換などを通じて切磋琢磨できたか		D	・コロナ禍のためあまり研修ができなかった		
進路指導	自己理解	自らの個性に向き合い、自己理解を深めているか	B		・生徒との対話時間を持つ ・目標設定確認やワークシートなどを使い深める
		自らの長所・短所について自覚を持って行動し、それに基づいて将来を構想している	B		・幅広い指導を行う必要がある
	キャリア教育	職業観や労働観は育まれているか	B	・進路ガイダンスを行うことで意識付けができた	
		自らの人生を真剣に考え、どのような職業につくべきかを考察できている	B		・調べ学習などの時間を確保する必要がある
		インターンシップ等の取り組みができた	D	・未実施 ・コロナ禍で施設実習も実施が難しかった	・コロナ禍で受け入れてくださる施設減少(S)
	受験への対応策	校外模試や検定試験を積極的に活用しているか	C	・限られた時間の中で合格に向け課外などを行った	・送迎など家庭の協力が必要
各学年に応じた小論文対策は計画的になされているか		C	・各学年で実施した	・1年次からの取り組みが必要 ・外部講師などからの指導強化	
面接に必要なコミュニケーション能力・一般的な知識・論理的思考力は向上している		B	・もしもし検定受験でコミュニケーション力を高める意識付けができた	・外部講師などからの講習を増やす ・1年次からの取り組みが必要	
進路情報の提供	進路ガイダンス等の行事は有効に機能しているか	B	・コロナ禍で外部指導の機会が少なかった ・全学年対象の進路ガイダンスはとても良かった	・外部からのガイダンスは意識付けに有効	
	進路情報を必要な時期に生徒・保護者に発信できている	B	・時間を有効に使い面談ができた	・家庭との連携が必要	

生徒指導	基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻・早退の理由を把握して適切な指導が来ている	B	・連絡のない家庭には学校側から連絡し、把握した	・諸届帳の提出をしっかりと行わせる
		身だしなみについて日常的に意識させることが来ている	B	・注意をする生徒が減った	・声掛けをしていく ・教員団が統一した指導を行う
	安心安全な環境づくり	学校生活の諸活動の場面で生徒の変化に気づき適切な対応を図っている	B	・担任、学年代表で対応することができた	・教師間で意見交換をしっかりと行う
		様々な不安や悩みを抱える生徒に対し親身に対応が来ている	A	・情報共有ができていた ・SC、SSWと連携が取れていた	・SC、SSWを積極的に利用していく
		学校は人権教育の推進に力を入れ、いじめのない環境づくりを行っている	B	・大きなトラブルはないが、LINEなどの書き込みでトラブルになることがあった	・生徒の様子をしっかりと観察することが必要
		講習会を実施し、インターネットやSNSなどの危険性を理解させている	B	・警察にお願いし講演を実施した	・警察以外の講座も検討する
		避難訓練を実施するなど、日頃から防災意識を高めることが来ている	B	・消防署にお願いし訓練ができた	・職員研修を行う
全職員が学年や係等のそれぞれの立場で連携をとり生徒指導にあたっているか	B	・先生方の役割に沿った指導が来ている			
課外活動	生徒会活動	生徒の自主的・主体的活動を促すような指導が来ている	B	・挨拶運動など自主的な活動が見られた	・生徒発案を増やす必要がある
		体育祭や学園祭など生徒会を中心に準備、運営、協力を尽くせるような指導が来ている	B	・菊女フェスタは大成功であった	
	部活動など	部活動や同好会活動に積極的に参加している	B	・コロナ禍のため活動の場が制限された	
		教職員は部活動の推進と技術向上のため積極的に指導に取り組んでいる	B	・コロナ禍のため練習時間の確保が難しかった	・時間を有効活用する
教職員はハラスメントや体罰に気をつけ指導にあたっている		B	・言葉遣いなど各自注意している	・自覚を持って職務に専念する	
学校は勉強と部活の両立に配慮している	B	・コロナ禍のため時間制限されたが、試験前には学習時間を確保することができた	・テスト前の学習時間の確保		
学校運営	家庭・地域との連携	学校行事への招待など積極的な世代間交流・地域間交流が来ている	A	・青空コンサートは好評だった ・菊女フェスタ、卒業式にはたくさんの来賓が参列された	
		学校行事や授業を通し、国際受信・発信が来ている	A	・ALTとの授業が活発であった	・ICTの活用幅を広げる
		魅力ある開かれた学校づくり	A	・コロナ関係の連絡など安心メールを最大限利用することができた	
		地域の資源を生かしながら地域貢献が来ている。また、地域の資源を生かした活動が来ている	A	・コロナ禍のため沢山のイベントは中止されたが、工夫しているいろいろなことに挑戦することができた	
		学校と保護者教育委員会、同窓会の連携は円滑に機能している	B	・保護者の協力を得ることができた	・同窓会との連携が必要 ・同窓会が機能するよう働きかけが必要
理事長による所見	工夫をしてコロナ禍の制約を乗り越える努力ができ、ICTの利用も国際交流や大勢が苦手な生徒たち対象に活発になった。共にジェンダーフリーに向けての良識改革や次年度に向けてのICTの取り組みの準備が来ている。				